

1 **STEP 3 病期診断・手術適応の判断**

- 2 ・リンパ節/遠隔転移をみるために胸腹部造影 CT
 3 ・遠隔転移をみるために骨シンチ/FDG-PET
 4 ・脳転移をみるために頭部 MRI (FDG-PET では脳転移は検出できない)

・生理的集積
 → 脳, 心臓, 尿路
 ・5時間以上絶食
 ・トイレも別

POINT

	病期	非小細胞癌	小細胞癌
3 cm 以下	I 期	手術	手術 (+ 化学療法)
5 cm 以下	II 期		化学療法 + 放射線療法
リンパ節転移	III 期	化学療法 + 放射線療法	化学療法 + 放射線療法 or 化学療法 + 緩和療法
遠隔転移	IV 期	免疫療法/化学療法	

※手術の後は胸腔ドレーンを留置し、出血や空気漏れに対応する

13 **STEP 4 薬物治療の判断**

- 14 ・非小細胞肺癌の EGFR 遺伝子変異, ALK 融合遺伝子, ROS1 融合遺伝子, BRAF 遺伝子変異
 15 に対してチロシンキナーゼ阻害薬が用いられる
 16 ・非小細胞肺癌の PD-L1 の発現例に免疫チェックポイント阻害薬 (パンプロリズマブ, ニボル
 17 マブ) が第一選択。これらの副作用は、間質性肺疾患, 大腸炎, 下痢である
 18 ・化学療法の適応判断に Performance Status (PS) がある

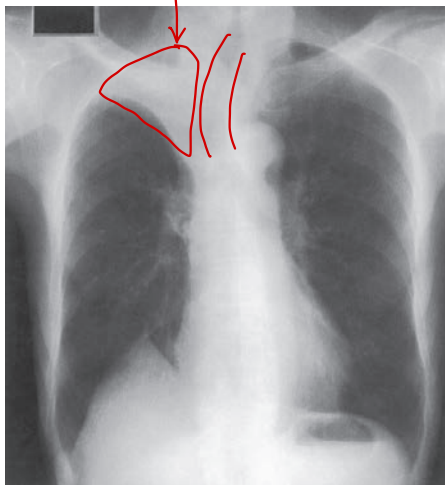
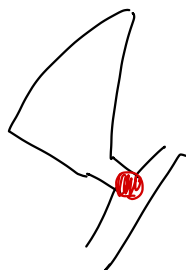
POINT

PS 0 ~ 2 ← 日中の50%以上をベッドサイズ以外

20 **STEP 5 肺癌の合併症に注意**

21 ●局所浸潤による合併症

- 22 ・縦隔浸潤による上大静脈症候群, 無気肺



右上葉の含気低下と右横隔膜挙上を認める。
 無気肺の所見である

(別冊アトラス No.28)